

# 農業部農村發展及び水土保持署

◎ 所在地：南投縣南投市中興新村光華路6号

◎ 電話番号：049 239 4300

農業部農村發展及び水土保持署（以下、農村水保署）は、台湾農業部の付属機関であり、農業部の政策方針に従い、「健康、効率、持続可能な国民農業」を積極的に推進しています。主に台湾の水土保持、農村再生、山岳地域の監督と管理、土石流警戒の発表などの業務を担当しています。

農村再生条例は 2010 年に台湾行政院によって公布され、農村コミュニティを主体とし、コミュニティの組織力と住民の参加意欲を基に、ボトムアップの共同参加を促進し、生活、生態、生産および文化の側面で農村の持続可能な発展と活性化を図ってきました。農村再生関連の計画政策には、農村コミュニティの根幹を育てる計画や地域特性を推進する計画の実施のほか、農村産業の活性化のための農社企経営指導計画、農村の優れた商品選抜、農村の優良店計画などがあります。

また、若者が農村に留まることを促進するために、農村水保署は若者の農村回帰/回郷、大学生の農村回遊コンテスト、および大学と農村の実践共同創造計画などを推進しています。農村の高齢者ケアに関しても、グリーンケア計画と住みやすい農村の友好的空間改善指導があります。

農村に貢献した機関を特に表彰するために、農業部はドイツ連邦農糧局のコンテスト内容を参考にし、台湾の専門家や学者、県市政府の意見を広く収集し、「金牌農村競賽」モデルを導入し、3年ごとに「金牌農村競賽選抜」活動を実施しています。受賞機関はドイツの農村と交流し学ぶ機会も得られます。また、農村の持続可能な発展と活性化、農村コミュニティの発展に卓越した貢献を表彰するために、農業部は 2015 年から「農村リーダーシップ賞」を開催しており、農村の学習モデルとなっています。

農村水保署の総本部は台湾南投県にあり、6つの分署が設置されています。これらは、台北分署（台北市、新北市、基隆市、桃園市、新竹県、新竹市、宜蘭県および連江県を管轄）、台中分署（台中市および苗栗県を管轄）、南投分署（彰化県、南投県、雲林県、嘉義県および嘉義市を管轄）、台南分署（台南市、高雄市、屏東県、澎湖県および金門県を管轄）、台東分署（台東県を管轄）、および花蓮分署（花蓮県を管轄）です。



## 主な職責

- 山岳地域の治山防災管理を推進し、故郷を守り、持続可能な環境を創造
- 農村再生と農村人材の育成を推進し、若い世代の農村革新を推進
- 里山イニシアティブ、食農教育、およびグリーンケアを推進
- 土石流災害の安全ネットワークを構築
- 農村再生を実施し、美しい新農村を建設
- 持続可能な農村発展と環境安全の目標を達成



# 苗栗县政府農業処

苗栗(ミャオリー)県は台湾の北西部に位置し、地理的には中部に属しています。東は雪山山脈に近く、西は台湾海峡に面しています。苗栗県には2市、5鎮、11郷の計18の郷鎮市があり、頭份市が県内最大の都市です。県内北部の中港溪地帯は新竹県市と接し、竹苗生活圈と言います。南部の大安溪地帯は台中市と頻繁に交流しています。住民の主要な族群は客家人であり、苗栗県は台湾で最大の客家人が住む県です。

苗栗县政府農業処は、林務科、畜産科、自然生態保育科、農漁会輔導科、農務科、休閒農業科、漁業科を含み、苗栗県内の農林漁牧業などの関連業務を担当しています。近年、苗栗县政府農業処は中央機関と協力し、県内の茶産業の発展と転換を支援し、地方農会と協力して苗栗の地元茶産業文化を推進し、苗栗の製茶技術と品質の向上を図っています。



苗栗县政府農業処は生物多様性を維持するため、台湾の石虎(オオヤマネコ)の保護に努め、「良い山と良い水には石虎がいる。みんなで一緒に守ろう」というスローガンを掲げています。2019年下半年からは石虎に適した生息地を作るため、石虎に優しい生態維持計画を試験的に実施し、住民に石虎の生息地保護に有利な行動を奨励し、石虎の個体数の安定と最適な生息地環境の構築を目指しています。石虎による被害を受けた家禽業の農家に対しては、保護団体と協力して農家に報告を促し、人間と動物の衝突を減らしています。

さらに、友善農耕の推進を通じて、農家が環境レベルを向上させると同時に、安全で安心な農産物を生産し、友善石虎生息地面積を増やしています。コミュニティや市民団体の力を結集し、コミュニティ巡回隊を組織して地元の石虎を保護し、良好な社会関係を築き、コミュニティの結束力を強化しています。今年、農業処は「良い山と良い水には石虎がいる。みんなで一緒に守ろう」というスローガンで、政府の活動奨励賞の「社会創新共融賞」にノミネートされました。

◎ 所在地: 360苗栗縣苗栗市県府路100号

◎ 電話番号: 03 755 9375



# 苗栗県観光協会 - 旧山線鉄道自転車 (Rail Bike)

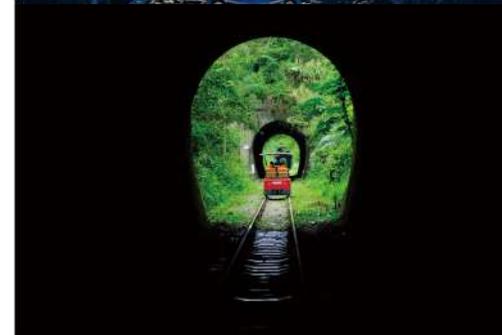
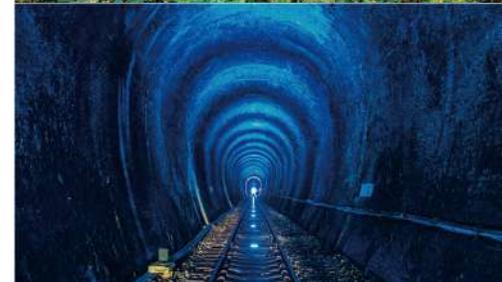
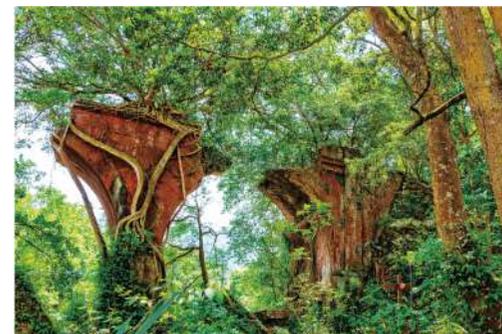


苗栗(ミャオリー)県観光協会理事長の游志勇氏は、旧山線鉄道自転車の運業者でもあり、祺峰(チーフン)レジャー事業株式会社の社長でもあります。旧山線鉄道自転車は2019年に運営を開始し、現段階で190万人以上の乗客を楽しませてきました。建築界のオスカー賞と称される「国家卓越建設賞」を受賞しただけでなく、台湾交通部初の「観光亮点賞」も受賞しています。

旧山線は1908年に建設され、「近代鉄道工芸の極致美学」とも称されています。1998年に運行が停止されて以来、運営コストの問題で再開されていませんが、その沿道の鉄道技術、森林の眺望、文化背景の豊かさから、歴史遺跡の保存と復興を目指して苗栗県政府が旧鉄道システムを活用し、旧山線鉄道を完全に保存しつつ、全台湾初の「旧山線鉄道レールバイク」を創設しました。この動的な文化保存の方法で、訪問者は低炭素、環境保護の新しいスタイルで旧山線の美しさを体験することができ、イタリアの「国際スローシティ認証」も受けています。

鉄道自転車は各車両に4人乗りで、GPS 定位、音声ガイド解説、緊急救援通報システムが設置されており、乗降用のステップ、手すり、計器盤、収納棚、カップホルダー、日除け、透明な防雨板などのデザインも特別に施されています。さらに、人力での踏み込み以外に電動設備も備えられているため、疲れたときでも無理なく走行し、沿道の風景を楽しむことができます。

旧山線は文化部により世界遺産の潜在ポイントとして認定されており、全線に3つの鉄橋、4つの駅、8つのトンネルがあります。鉄道レールバイクのルートには、3号から6号までの4つの短いトンネルが連続して設置されており、ある地点からは複数のトンネルを同時に見ることができます。さらに、勝興駅から鯉魚潭までの往復12キロメートルの鉄道自転車ルートには、勝興駅、魚藤坪鉄橋、龍騰断橋遺跡、鯉魚潭水庫、そして百年の歴史を持つ2号トンネルのライトアップなど、旧山線の美しい景観が含まれています。



◎ 所在地: 367 苗栗縣三義鄉勝興村14鄰勝興88号

◎ 電話番号: 03 787 8599



# 苗栗市農会

苗栗市農会は1933年に創立され、全従業員の努力によって盤石な経営基盤を築き、各業務を持続的に成長させてきました。時代の進歩や社会環境の変化に対応するため、農会業務も情報化時代の流れに合わせて絶えず革新を追求しています。新たな機会を創出し、財務構造を強固にし、社会サービス事業を積極的に展開し、利益を創出することで、農会のサービスレベルを向上させ、会員に還元し、農会の使命と目的を達成することを目指しています。

当農会は、信用部、保険部、推广部、供銷部、会務部、情報室の6つの部門に分かれています。特に推广部は「農から取り、農に使う」という理念を掲げ、台湾政府と協力して農業推广教育を実施し、農業生産環境を改善し、農村地域の後進の育成を強化し、農家の所得を向上させ、農家の福祉を増進し、豊かな農村を建設することを目的としています。その主要な推進項目には、農業推進教育（農家の知識向上、農村労働力の解決、農業の高度化など）、四健推進教育（若い世代の農家の育成、青年農業訓練など）、家政推進教育（農村地域の女性の技術訓練、田媽媽（その土地の食材を使い、なおかつお店オリジナルの看板名物があるレストランを政府が審査し、通過したお店にだけ許されるブランド）の活動など）、農村文化福祉（農民節活動や農村コミュニティ産業活動の開催など）があります。

また、苗栗市農会が運営する地域ブランドの紅茶は「猫裏紅（マオリーホン）紅茶」で、台湾原生の小葉種茶葉を主な原料としています。一芯二葉の茶葉を厳選し、特別な製茶方法を用いて、前味は蜜のように、中味は果実のように、後味は甘みが残る絶妙な風味を持つ茶の余韻を生み出しています。東方美人茶のような甘みと潤いがありながら、さらに濃厚な口当たりを持つのが特徴です。猫裏紅紅茶の専門的な評価基準には、外観（形状と色）、水色、香り、味、茶殻が含まれています。



◎ 所在地: 360 苗栗市中正路611号

◎ 電話番号: 03 732 0530



# 公館郷農会

公館(コンクアン)郷農会は歴代の総幹事の努力により、福菜、柿餅、紅棗(ナツメ)、芋頭(タロイモ)や紫蘇など、多様で特徴的な作物を生産してきました。本農会の運営は、農会業務の安定的な展開に加え、農家へのサービスとケアが主要な指針となっています。現段階では、以下の三つの目標に向けて継続的に努力しています。



## 技術の保存と革新

公館郷は、福菜、柿の餅、紅棗、タロイモなど多くの特色ある産業を持ち、独特の加工技術を保存し、紅棗の栽培技術を革新し、収穫期の調整を図り、新鮮な果実の販売期間を長期化することを目指しています。

## 体験活動との連携によるブランドストーリーの深掘り

冬季の花畑と連携し、稗棚(カントウ)、案山子、干し芥菜、福菜、干し大根、干し大根スライス、大根チップスなどの伝統的な農村のイメージを再現し、日本統治時代の献穀田(天皇陛下に献上するお米を作る田んぼ)の風景を再現して、ストーリーマーケティングを強化し、農村の伝統産業文化を保存します。

## パッケージと市場の差別化の改善

既存の高品質な農産物を市場のセグメントに基づいて区分し、文創(Cultural and Creative Industry)を利用して若い世代をターゲットにした市場マーケティングを強化し、お土産市場をターゲットにした手頃な高級ギフトボックスを推進し、異なる顧客層に合わせてパッケージのデザインを改善し、マーケティング効果を強化します。

公館郷農会は、2015年に台湾農業部の支援を受けて農村酒造所となり、地元の優れた産業である紅棗、タロイモ、桑の実、紫蘇を利用して、独特の香り高い酒を醸造しました。2023年には、酒品を統合し、新たにデザインされたパッケージで「穿龍二十四釀」ブランドシリーズを発表しました。これは、穿龍水圳(公館郷の古い水路)から命名され、四季の豊かさを象徴し、苗栗公館の黄金時代を共に楽しむことを目的としています。

公館郷農会は農家の権益を保護し、生産収益を増やすために、伝統的な加工方法を使用し、自然発酵で防腐剤や着色料等の不要な添加物を含まず、技術改良を加えて衛生安全を保証しています。製品は明確な商品表示を採用しています。農会の「芋醇香」蒸留酒は、アルコール度数45%で、世界酒類金賞を受賞しました。「芋醇香」は、公館郷の献穀米から作られた米麴を使用し、発酵菌の栄養源を生み出し、2年間の熟成を経て、酒の香りが豊かで、タロイモの淡い香りが自然に漂い、口当たりが柔らかく、世界各国の審査員から高い評価を得ています。

また、公館の紅棗の歴史は100年以上にわたり、陳家の先祖が石墻村に植栽して以来、ここで花が咲き実を結び、台湾の紅棗の新しい故郷となりました。ここで栽培されている紅棗は、約60ヘクタールの面積を持ち、約100軒の農家が関わっています。公館農会も「棗紅顔」を醸造しており、上述の「芋醇香」とともに人気の商品となっています。

◎ 所在地: 363苗栗縣公館郷大同路266号

◎ 電話番号: 03 722 5211



# 霧峰区農会

霧峰(ウーフォン)区農会は、全台湾に先駆けて農家を指導し、台農 71 号の益全香米の栽培を推進してきました。この品種は風味が良く、お米の品質も優れており、全国十大好米の最高栄誉を受賞したことがあります。そのため、霧峰は「香米の故郷」として知られています。霧峰区農会は 2002 年から持続可能な農業の発展を目指し、最新品種の高品質な香米の栽培を積極的に推進しています。農家との契約栽培を奨励し、農家の収益を保障するとともに、稲の品質を向上させています。

霧峰農会は、稲作産業の発展に力を注ぎ、多くの人材、設備、資金を投入し、指導機構、契約履歴、畑の管理、サンプル検査による食品安全の確保、価格保証買取、災害保険、ブランドマーケティングなど、多岐にわたる策を講じています。霧峰香米は広く知られ、高評価を受けています。消費者に愛され、農家に利益をもたらし、生態環境も改善されています。最近では国の政策に協力し、国連の SDGs の推進にも努めています。

霧峰農会は「万豊旧穀倉」を改築し、香米の蔵、清酒の蔵(醸造エリア)、万豊穀倉、阿罩霧の柑仔店(子供向けの雑貨店)などを設置し、台湾の香米文化と清酒醸造を融合させ学べる施設を設立しました。また、貴重な地方農村文化遺産である旧精米機も保存し、農業の楽しさ、文化、教育、ワインテイスティングの知的な旅の魅力を提供しています。これは台湾で初めての日本美学の風情に満ちた魅力的な酒蔵であり、日本の杜氏の「心魂傾注」の造酒精神を伝承しています。酒は米を主要原料として醸造され、魅力的な米の香りを含んでいます。

今年、霧峰農会は南仏ボルドーの「ワイナリー国際コンクール」(Concours Vinalies Internationales)に参加し、「初霧・焼酎」と「酔峰四六」で特級金メダルを 2 つ、「極清大吟醸」と「極清台湾清酒」で金メダルの栄誉を獲得しました。また、「吉野瑞光」は最適な酒米である台湾花蓮吉安で栽培された吉野一号米を選び、最上級の酒感体験を提供するだけでなく、その土地への敬意も込められています。



◎ 所在地: 413 台中市霧峰区四德路 10 号

◎ 電話番号: 04 2330 3171



霧峰區農會

# 樹生ワイナリー



樹生(シューシェン)ワイナリーの名前は、酒莊の主人である洪吉倍さんが、台湾の葡萄生産農業に生涯を捧げた祖父の洪樹生を記念して名付けられました。樹生酒莊は台湾台中の後里(ホウリー)に位置し、后里の山間部は独特の斜面と土壌を持ち、ワイン用葡萄の栽培に非常に適しています。気温と日当たり条件が良く、排水性の優れた小石地質のおかげで、葡萄は健康で大きく甘く育ちます。祖父の洪樹生さんは1957年に公賣局の依頼を受け、「ワイン用葡萄の専門区」を開発し始めました。それ以来60年以上にわたり、葡萄の蔓を長く伸ばし、根を深く張らせることにより、葡萄が環境のエネルギーと栄養を吸収しやすくなっています。この信念が「樹生」のワイン用葡萄の自然な風味を最大限に引き出す鍵となっています。

「樹生レジャーワイナリー」のワイン醸造所は、欧米の先進的な設備を導入し、丁寧な手作業で葡萄を選別し、その年の葡萄の品質に応じて熟成プロセスを調整しています。これが樹生ワインの一貫した高雅なスタイルと品質を保つ秘訣です。

醸造家の陳千浩さんが樹生休閒酒莊と協力して醸造した「埔桃酒」は、2013年以降、各種国際酒類コンクールで多くの賞を受賞しています。「埔桃酒」はフランスのミシュランレストランに初めて採用された台湾のワインで、その成功が注目され、世界的に有名なスコッチウイスキーのメーカーであるグレンフィディック(Glenfiddich)とのコラボレーションで、世界初の台湾「埔桃酒」フレーバーのウイスキーが限定発売されました。「埔桃酒」の成功の秘訣は、元々酸味が強かった葡萄酒に高純度のブランデーを加えて発酵を中断し、ジュースの中の糖分を保つことです。また、高温の環境下による蒸発率が高いため、5年間の熟成した葡萄酒は半分しか残りません。これにより、酒体が濃縮され、甘みが増し、元々不快だった酸味が甘みを引き立てるバランスの鍵となります。海外の甘いワインにはなかなかない、甘さがありながらしつこくない特徴を持つ、これが台湾の風土に根ざしたワインです。

◎ 所在地: 438 台中市外埔区水頭二路8号

◎ 電話番号: 04 2683 3298

# 馨樂旅遊



馨樂旅遊には、国内旅行部、海外旅行部、チケット販売部、証明書発行部、予約部などがあり、団体および個人の航空券、ビザ、国内外観光旅行などの業務を専門的に取り扱っています。

より質の高い旅行をご提供するために、「✕遊台灣」および「FLYTAIWAN」ブランドの下、澎湖、金門、日月潭に支社を設立し、日本およびベトナム向けの独自商品を展開しています。また、大手旅行会社との協力を通じて、旅行商品を充実させ、市場評判の向上を目指した結果、非常に優れた成果を上げています。毎年、数万人以上のお客様にサービスを提供しており、『顧客クレームゼロ』を目指して努力しています。

政府の観光政策の発展に協力するため、旅行業の環境保護ラベルを取得し、持続可能な観光を目指しています。また、農村再生と農村観光の革新を推進しつつ、農村観光フォーラムも成立しました。日本の新潟県十日町市および大地の芸術祭の企画運営者と交流し、「里山精神」を学び、実践しています。近年では、定期的に「武陵福寿山農場旅行」と「阿里山森林鉄道小旅行」を提供しています。国際金旅賞の持続可能部門で栄冠を手に入れました。旅行の中で感動や様々な側面を見つけ出します。

- 交通部觀光局綜合旅行社登録番号: 2209
- 会社の統一事業番号: 53391168
- 中華民國旅行業品質保證協會番号: 中0331



**馨樂旅行社**

Heart Tour.com.tw

以禮相待 ♥ 用心服務

◎ 所在地: 412台中市大里区大里路236号

◎ 電話番号: 04 2407 2522

# 台湾観光旅行業交流協会



台湾観光旅行業交流協会は、台湾国内の観光を促進すると同時に、旅行者による農村観光、体験型観光、地域文化の積極的な推進を図るために設立されました。本協会は、各地の旅行者で構成されており、自己の向上を目指しており、現地の文化交流、下見ツアー、プロモーションイベントに参加することで、会員や地域産業のさらなる発展を目指しています。

台湾観光旅行業交流協会は、台湾国内の観光を促進すると同時に、旅行者による農村観光、体験型観光、地域文化の積極的な推進を図るために設立されました。本協会は、各地の旅行者で構成されており、自己の向上を目指しており、現地の文化交流、下見ツアー、プロモーションイベントに参加することで、会員や地域産業のさらなる発展を目指しています。



◎ 所在地: 10491 台北市中山区吉林路24号11階

◎ 電話番号: 02 2521 1777

# 苗栗県観光協会

本会は、苗栗県内の観光産業の発展において業者と政府の重要なプラットフォームであり、苗栗県の観光産業が共同で設立したソーシャルメディアサイトです。これにより、苗栗県の観光資源の統合を促進、業者が観光マーケティングを共同で推進することをサポートし、それらのサービス向上とビジネスチャンスの創出を図っています。近年、苗栗県自治体と共に、様々な文化観光や各種建設プロジェクトを全力で推進し、苗栗のどかな町は新たな姿に変わりました。開発と環境保護、国際化と地元の特徴の保存といった相反する概念の中でバランスを取り、苗栗県を誰でも楽しめる観光地へと発展させていきます。



© 所在地：363苗栗県公館郷五谷46号

© 電話番号：03 722 0662

# 台湾コーヒー研究室



台湾咖啡研究室  
TAIWAN COFFEE LABORATORY

◎ 所在地: 23143 新北市新店区北新路三段225号4階

◎ 電話番号: 02 8911 6612

台湾のスペシャルティコーヒー産業の発展と競争力向上を目指し、台湾コーヒー研究室は、地元の優秀なコーヒーをプロモーションするだけでなく、台湾コーヒー生豆の卸売と販売も行っています。より専門的で充実した教育環境と条件を提供し、コーヒー知識や国際的な情報の普及と交流を促進するために、2013年には米国スペシャルティコーヒー協会 (SCAA) の教育実験室の認証を取得し、現在はSCAAの台湾区国際教育協力パートナーとなっています。

産業情報プラットフォームおよび知識の伝播者として、自ら誇りを持ち、国際的なカップング評価システムを導入してコーヒー品質の評価を行うほか、TCLは国内外の専門家を講師として招き、各界のリソースを統合して、海外の二大スペシャルティコーヒー協会のシステム認定コースおよび多様な非認定トレーニングを提供しています。農家、コーヒー愛好家、そして業界の人々に対して、全面的なコーヒー知識のコンサルティングサービスを提供しています。

## 主なサービス内容

- **コーヒー品質評価サービス**
  - 定例カップング会
  - 産業コンサルティング
  - ワークショップ
  - 情報共有サービス
- **基礎および上級コース**
  - 感覚訓練
  - 抽出
  - コーヒー焙煎
- **認定コース**
  - CQI Q Grader & R Grader Courses
  - SCAA Education Program
  - SCAE Diploma Education System

